

第4学年 音楽科学習指導案

東京都公立小学校

1 題材名 「日本の音階で旋律をつくろう」

2 題材のねらい

- (1) 日本の音階の音やフレーズのつなげ方や重ね方について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択して表現する技能を身に付ける。
- (2) 旋律、音階、呼びかけとこたえ、音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、日本の音階の音やフレーズのつなげ方の特徴を生かしながら即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得る。
- (3) 友達と呼びかけとこたえの旋律をつくる学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に音楽づくりの活動に取り組む。

3 題材について

(1) 児童の実態について

4月より授業を担当している。第3学年までは非常勤講師が授業を担当しており、音楽づくりの学習経験は少ない状態であった。音楽づくりでは、6月に『さくら さくら』の都節音階や「ソラシドレ」の5音のつなげ方を即興的に試しながら、どのような4拍の旋律をつくるか発想をもつ学習を行った。9月には「ドレミソラ」の五音音階や上行音型や下行音型による呼びかけとこたえに着目しながら『とんび』を歌い、その経験を生かして一人8拍の旋律をつくる学習を行った。旋律をつくる際、音の動き方を工夫しながらリズムを考えることが難しい児童が一定数見られたため、リズムは教師から数種類提示し、そこから選ぶようにした。それにより、友達と話し合ったりつくった旋律を聴き合ったりしながら音の動き方を工夫することができた。

本題材では、これらの学習経験を生かして日本の音階から都節音階、民謡音階、琉球音階の三種類のいずれかを使って8拍の旋律を即興的につくる。同じ音階を選んだ友達と、つくった旋律を重ねたり聴き合ったりすることで音階がもつ固有の響きやその違いに気付くとともに、旋律の継続音や終止音に対する感覚を高めていけるようにしたい。

(2) 題材について

9月に行った五音音階の音楽づくりで、児童は「ドレミソラ」の五音音階が普段耳にする音楽でも使われていることを知った。本題材で扱う3種類の音階も五音音階であることから、同じ五音の音階であってもその音のつながりが生み出す響きの違いに気付くことができるようにしたい。そして、発展として合いの手と低音の支えの旋律を即興的につくり、合わせることは高学年で扱われる声部の役割を意識した音楽活動へとつながっていく。それぞれの音階の響きが生み出す特徴やそのよさ、面白さに興味をもちながら、中学年の学びを高学年へとつなげていくことができるようにする。

(3) 学習指導要領との関連

本題材は、小学校学習指導要領の以下の内容に基づくものである。

【A 表現：(3) 音楽づくり】

ア 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の(ア)及び(イ)をできるようにすること。

(ア) 即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ること。

イ 次の(ア)及び(イ)について、それらが生み出すよさや面白さなど関わらせて気付くこと。

(イ) 音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴

ウ 発想を生かした表現や、思いや意図に合った表現をするために必要な次の(ア)及び(イ)の技能を身に付けること。

(ア) 設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能

本題材で扱う主な音楽を形づくっている要素

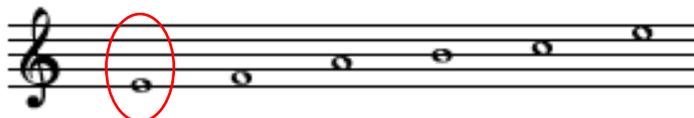
ア「旋律」「音階」 イ「呼びかけとこたえ」「音楽の縦と横との関係」

4 教材について

本題材では音の動き方を意識した8拍の旋律のつなげ方を工夫して2・3人で呼びかけとこたえの旋律をつくる。つくった旋律は、低音で演奏する支えの旋律と合いの手の旋律と重ねて、即興的な音楽にする。

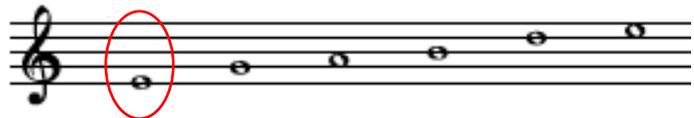
<使用する音階> それぞれ、丸で囲まれた音で終わるようにつくる。

①都節音階



中心の音：ミ，シ

②民謡音階



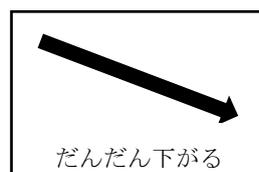
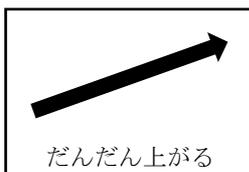
中心の音：ミ，ラ

③沖縄音階



中心の音：ド，ファ

<音の動き方>



<音楽づくりのルール>

【呼びかけの旋律をつくる際のルール】

- ・○以外の音で終わる。
- ・「音の動き方」を決める。

【こたえの旋律をつくる際のルール】

- ・○の付いた音で終わる。
- ・「音の動き方」を決める。

【合いの手と支えの旋律をつくる際のルール】

- ・○の音を必ず使う
- ・指定された音色を使う

5 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①音やフレーズのつなげ方の特徴に気付き、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。(知・技)	①旋律、音階、呼びかけとこたえ、音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ている。	①友達と呼びかけとこたえの旋律をつくる学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に音楽づくりの活動に取り組もうとしている。

6 本時の評価の進め方と期待される児童の姿

【本時の評価規準】

態 友達と呼びかけとこたえの旋律をつくる学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に音楽づくりの活動に取り組もうとしている。

【Aと判断される児童の状況】

自分のつくった旋律との違いを積極的に見つけ、何度も合いの手や支えの旋律と合わせる活動を行ったり、音階の響きやつくった旋律についての振り返りを行ったりしている。

【Cと判断されそうな状況への手立て】

友達と合わせる前に互いのつくった呼びかけとこたえを聴き合ったり、友達の旋律と比較しながらどのような旋律をつくったかについて価値付けする。

合わせる事が難しい場合は、第1時から使用している伴奏を流して合いの手や支えの旋律と合わせた音楽を楽しめるようにする。

7 題材の主な指導計画(全3時間)

時	○主な学習内容 ・学習活動	◇教師の働き掛け ◆具体的な評価規準 (評価方法)
1	<p>○音階の違いに気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の音階の響きを知る。 <p>○音のつなげ方を生かして、即興的に表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような旋律をつくるのかを知る。 <p>・キーボードで、8拍のこたえの旋律を即興的につくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つくった旋律を1人ずつ演奏する。 	<p>◇3つの音階を用いて「かえるのがっしょう」を演奏し、その響きの違いを捉えられるようにする。</p> <p>◇呼びかけの旋律として、「だんだん上がる」「だんだん下がる」「近くの音でつなぐ」の3種類の動き方でつくられた旋律を提示し、どのようにこたえてつくるかについて、考えられるようにする。</p> <p>◇列ごとに使う音階を変える。</p> <p>◇教師の呼びかけの旋律の後に続けて演奏することを伝える。演奏する時は、支えと合いの手の旋律を伴奏として録音したものをタブレット端末でループ再生する。</p> <p>◆旋律、音階、呼びかけとこたえ、音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ている。【思・判・表①】 (演奏聴取、行動の観察)</p>

2	<p>○音の動き方を工夫しながら、ペアで16拍の呼びかけとこたえの旋律をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音階ごとに分かれる。 ・呼びかけとこたえの旋律をつくるペアを組む。 ・音の動き方を工夫しながら、呼びかけとこたえの旋律をつくる。 ・つくった旋律を録画する。 ・代表児童の呼びかけとこたえの旋律に合わせて、支えと合いの手の旋律を演奏する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇事前にアンケートを取っておき、すぐに分かれるようにしておく。 ◇トリオの場合は、a-b-a-cで活動する。 ◇つくることが難しい場合は、つなぐ音を限定したり、友達の旋律の一部を変えたりするように声掛けを行う。 ◆音やフレーズのつなげ方の特徴に気付き、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。【知・技①】(演奏聴取, 行動の観察) ◇同じ音階グループの中で撮影し合い、手元が分かるようにすることを確認する。 ◇全員がすぐ演奏できるような低音と合いの手の旋律を、音階ごとにつくっておく。
3 (本時)	<p>○ペア同士で重ねて楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つくった旋律を想起し、通して練習する。 ・グループで、つくった旋律をつなげたり重ねたりして音楽をつくる。 ・これまでの学習の振り返り、感じたことや思ったことなどをFormsで回答する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇動画を見て、つくった旋律の動きやリズムを確認する。確認が終わったら、ペアで呼びかけとこたえの旋律がつながるように練習する。 ◇支えの旋律→呼びかけとこたえ+合いの手の旋律と増やしていくことを伝える。 ◇音階のひびきやつくった旋律の特徴などについて、価値付けをしながら巡視する。 ◇日本の音階や呼びかけとこたえを生かした旋律づくりについて、振り返ることができるようにする。 ◆友達と呼びかけとこたえの旋律をつくる学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に音楽づくりの活動に取り組もうとしている。【態①】(演奏聴取, 発言の内容, 振り返りの記述内容)

8 本時の展開 (3 / 3 時間目)

(1) 本時のねらい

友達と呼びかけとこたえの旋律をつくる学習に興味・関心をもち、合わせて演奏したり聴き合ったりする活動を楽しみながら、主体的・協働的に音楽づくりの活動に取り組もうとする。

(2) 本時の展開

	○学習内容 ・ 学習活動	◇教師の働き掛け ◆具体的な評価規準 (評価方法)
導入 12分	○ペア同士で重ねて楽しむ。 ・つくった旋律を想起し、通して練習する。	◇動画を見て、つくった旋律の動きやリズムを確認する。確認が終わったら、ペアで呼びかけとこたえの旋律がつながるように練習する。
展開 13分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> つくったせんりつや、音階のひびきのちがいを感ぜよう </div> ・グループで、つくった旋律をつなげたり重ねたりして音楽をつくる。	◇支えの旋律→呼びかけとこたえ+合いの手の旋律と増やしていくことを伝える。 ◇音階の響きやつくった旋律の特徴などについて、価値付けをしながら巡視する。
15分	・グループで、違う音階の旋律づくりを試す。	◇選んだ音階と異なる音階のシートを使って、音階の響きの違いを感じ取れるようにする。
まとめ 5分	・これまでの学習の振り返り、感じたことや思ったことなどを Forms で回答する。	◇日本の音階や呼びかけとこたえを生かした旋律づくりについて、振り返ることができるようにする。 ◆態①<演奏聴取, 発言の内容, 振り返りの記述内容>

(3) 備考

・楽器は、ミニキーボードを使用する。音色は、呼びかけとこたえをオカリナ (67 番)、合いの手は琴 (83 番)、低音はフレットレスベース (31 番) とする。